

登別市事業仕分け調書

平成21年度作成

番号	6	事務事業名	特色ある学校づくり推進経費
----	---	-------	---------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

事務事業コード	52212001	事業開始年度	昭和 15 年度	事業終了予定年度	平成 - 年度
---------	----------	--------	----------	----------	---------

関連事務事業名	
---------	--

事務事業の実施根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等)	種別	5 市単独で実施している事務事業
	法令等名	学習指導要領
	法令等の内容	全国どこでも一定水準の教育が受けられるようにするため、各学校が教育課程を編成する際の基準として国が定めたもので、各学校では、この「学習指導要領」や年間の標準授業時数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて教育課程を編成している。

実施方法	市が直接実施	
	民間等へ業務委託または指定管理 (委託先:)	
	補助金 (補助先:)	

事務事業の目的と内容

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入) 市内の小中学校、中学校に在籍する児童・生徒
事業の目的	(何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか) 産業や自然など地域の素材を活かし、児童・生徒がものづくりや社会体験・観察を通して、自ら学び、考え、自立への基礎を養うことを目的とする。
事業の内容	(事業の内容【手段・手法・活動など】) 登別温泉入浴体験、総合的な学習の時間、生活科の実施、の3事業を通し各学校の特色ある学校づくりを推進する。 【登別温泉入浴体験】市内の小学3年生を対象に登別温泉地区の旅館・ホテルで温泉入浴を体験する。また、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学も行う。 参加児童：8校417名、受入施設(登別温泉地区)：第一滝本館外7件、交通手段：バス借上げ12台、教育課程の位置付け：第3学年の社会科及び副読本の学習の一環とする。指導時数は全体で5時間程度。 【総合的な学習の時間】地域の自然や環境、人材を活用し創意工夫を生かした教育活動を推進する。 講師講演：8件(中学校6件、小学校2件) 小学校(3年生以上)：主に野外での体験学習(バス借上げ12件)、中学校：主に企業等での職場体験学習(バス借上げ3件、バスケット交付822件) 【生活科の実施】小動物の飼育や学校菜園等を通し、児童の健やかな成長を育み命の尊さや自然に親しむ心を育てる。 小学校(1、2年生)：花いっぱい運動一年草購入(8校42ケース)外

事業費

区 分		単位	19年度 決算額	20年度 決算見込額	21年度 予算額
事業の 財源 内訳	国庫支出金 名称	千円			
	道支出金 名称	千円			
	その他 名称	千円			
	地方債	千円			
	一般財源	千円	3,915	4,516	4,322
合 計			3,915	4,516	4,322
上記事業を実施するために 必要となる人件費(概算)	職 員	千円	1,412	1,397	1,417
	嘱 託 員	千円	0	0	0
	臨時職員	千円	0	0	0
	合 計		1,412	1,397	1,417
総合計(合計 + 合計)		千円	5,327	5,913	5,739

事業費 内訳	(21年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】)
	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費金品(130,000円)：総合的な学習に係る講師謝礼金 ・消耗品費(1,743,000円)：生活科消耗品295,000円、総合的な学習に係る消耗品1,280,000円、花いっぱい運動一年草購入20,000円×8校×1.05=168,000円 ・印刷製本費(60,000円)：総合的な学習に係る印刷製本費60,000円 ・通信運搬費(856,000円)：切手等138,000円、バスカード718,000円 ・使用料・賃借料(1,455,000円)：総合的な学習に係るバス借上料900,600円、温泉入浴体験バス借上料554,400円 ・原材料費(78,000円)：生活科原材料30,000円、総合的な学習に係る原材料48,000円

番号	6	事務事業名	特色ある学校づくり推進経費
----	---	-------	---------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込み)
市内小中学校	校	13	13	13
登別温泉入浴体験	人	437	417	408

成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	<p>【登別温泉入浴体験】登別市内に住みながら登別温泉に一度も訪れたことのない児童もあり、社会科の授業で郷土について学ぶ小学3年生を対象に入浴体験を行うことで、自分たちが住む街の特色や良さを知り愛着を持つことができている。また、観光ボランティアガイドの案内で、地獄谷や施設等の見学も行っており、地域についての知識を体験を通じて深める機会となっている。また、児童だけでなく、保護者からも「3年生になったら温泉入浴ができる」と楽しみにしている声も寄せられている。</p> <p>【総合的な学習の時間】各教科で習得した知識や技能を生かすためには、探究心を持って野外や地域の施設などで体験的な活動を行うことが大切である。また、本事業により、地域の人材とのパイプも深まるなどの成果が上がっており、各学校からは「事業の継続を望む」との声が強い。</p> <p>【生活科の実施】低学年から小動物を飼育したり花を育てたりする体験を通して、児童の健やかな成長を育み、命の尊さや自然に親しむ心を育てるという目標を達成していると考えており、各学校からは「事業の継続を望む」との声が強い。</p>

担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	<p>各学校ごとに創意工夫をこらした学習活動を行うことにより、異なる魅力を持った学校づくりを推進することができると考える。また、学習を通じ、地域の魅力の再発見など、児童生徒が学ぶことも多いため、市が事業を行うことは妥当であるとする。学校の立地条件にあった学習等、独自性が形作られており、地域の実態や特性を生かした創意ある活動に努め、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進するために必要な事業である。</p> <p>特に、温泉入浴体験は、単に温泉に入るだけではなく地獄谷の散策、クマ牧場、マリンパーク、時代村などの施設見学、観光道路の清掃、ホテル内の働く人たちの見学、インタビューなど地域に愛着をもつよい機会となっている。</p>

他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)
	<p>【室蘭市】 事業名：港ふるさと体験 対象：小学4年生 内容：「白鳥大橋ができるまで」を学習し、船で港内～外洋を周遊する。バス代、船代については市が負担している。現在は水族館、海藻試験場での体験学習に変更し、事業を継続している。</p> <p>【白老町】 事業名：アイヌ文化を知ろう 対象：小学4年生 内容：白老のアイヌの人たちの文化を体験（踊り、ムックリ等）する。バス代、見学科については町が負担している。</p>

特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)
	<p>国では、学習指導要領の改訂の中で、平成元年から小学1、2年生で生活科、その成果を受けて、平成11年より小学3年～中学3年まで総合的な学習の時間において、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を育むため、体験的な学習を教育課程に取り入れることとなった。本市においては、社会科の郷土学習の発展学習として登別の自然や観光を体験的に学べる機会として本事業を実施した。</p> <p>子どもたちの社会体験や自然体験が不足していることが年々問題とされるようになり、学校教育において体験的な学習を取り入れる必要性が指摘されていた。温泉入浴体験は、平成8年度に事業化され、市内の小学3年生全員を対象に実施しており、観光協会や各温泉旅館・ホテルなどの協力も得て、現在まで10年以上に亘り継続している。各学校においても教育課程の中に定着しており、目的やねらいを明確化し実施している。</p>